

6月定例議会

行政報告 (1)

平成27年6月定例議会は、5月27日から6月11日までの会期で開かれました。議会初日には、行政報告、上程された各議案の大綱質疑、また、6月3日、4日には一般質問が行われました。5日からは、各常任委員会で付託された議案を審議し、11日の最終日に採決が行われました。

6月定例議会の行政報告の概要についてお知らせします。

総務部関係

■総務課

職員採用試験は、大学卒一般行政職、土木技師及び建築士について6月10日から6月30日まで受験申込みを受け付けします。第1次試験は7月26日に秋田県市町村会館で実施されます。高校卒一般行政職及び消防吏員の試験も、順次行つていきます。

4月3日発生の雨による融雪出水被害は、市道の冠水により小猿部川流域坊沢三ツ屋岱地区1か所、小阿仁川流域三木田地区1か所を通行止めにする措置をとりました。建物の被害は、倒木による住家屋根一部損壊1棟です。

■総合政策課

路線バスをはじめ地域に必要な公共交通の維持確保について協議する、平成27年度第1回北秋田市地域公共交通会議を4月28日に開催し、市内



▲4月28日に市役所で行われた北秋田市地域公共交通会議

で運行するバス路線8系統への国庫補助申請に向けた「生活交通確保維持改善計画」が承認されました。きたあきたふるさと寄付金（ふるさと納税）の利便性を向上させるとともに市特産品の更なるPRを図るため、北秋田市観光物産協会の協力を得て、4月1日からふるさと納税ポータルサイトを活用した寄付申込みの運用を開始しました。

■内陸線再生支援室

秋田内陸線の平成26年度事業見通しは、経営損失額2億円以内とする目標に届かない状況です。国民文化祭やくまぐま園リニューアルオープンなどの大型イベントでは、計画した利用客を確保できず、沿線の利用者数も目標を大きく下回りました。海外からの誘客は、台湾を中心に前年並みの実績となり、国内団体客も増加傾向にあることから、なお一層の経費の節減に努めるとともに、沿線観光のPRやイベント、通学定期券補助や地方創生交付金を活用した秋田内陸線乗車促進事業など、目標達成のための取り組みを強化していきます。



▲大勢の家族連れでにぎわった秋田内陸線のりものまつり

今年で4回目となる秋田内陸線のりものまつりが、5月16日と17日の2日間、阿仁合駅周辺を会場に開催

財務部関係

■財政課

2月7日から4月30日までの工事等発注状況(500万円以上)は37件、契約額は7億2981万5千円です。

■税務課

平成27年度の当初課税状況は、軽自動車税が課税台数1万6420台で課税額は7880万2千円です。平成26年度分の各市税の4月末収納状況は、調定額39億4033万4千円に対し、収入済額35億2196万6千円で収納率は89.38%です。

市民生活部関係

■生活課

北秋田市廃棄物不法投棄監視委員会を4月20日に開催し、監視員24人へ委嘱状を交付するとともに、今年度の活動について確認しました。春のクリーンアップは、4月19日の早朝に市内全域(森吉・阿仁地区は19日以外複数日実施)で実施され、約5800人の市民が参加しました。クリーンリサイクルセンターへの平成26年度ごみの搬入量は1万1271トンで、前年度比では3.14%の減少です。



▲第4期障がい福祉計画を答申する、計画策定・評価委員会の木村久美会長

平成27年度から平成29年度までの期間とする第4期障がい福祉計画を策定しました。

健康福祉部関係

■福祉課

交通指導員及び防犯指導員の委嘱状交付式を4月6日に開催し、交通指導員42人、防犯指導員38人に委嘱状を交付しました。

5月11日から20日までの10日間、春の交通安全運動が実施され、運動初日には、市役所本庁舎前と森吉庁舎前で総決起集会を開催し、交通事故防止への決意を新たにしました。

5月13日には、消費者月間に合わせ、高齢者を狙った振り込め詐欺等による消費者被害防止のため、鷹巣地区のショッピングセンター前でチラシ等を配布して啓発を行いました。

身体障害者相談員に4人と知的障害者相談員に5人を委嘱し、相談活動を行っています。

北秋田市立鷹巣中央保育園は、4月1日より秋田県民生協会へ移管しました。



▲3月27日に鷹巣中央保育園で行われた移管式

子ども・子育て支援新制度に基づき、平成27年度から平成31年度までを第1期とする、北秋田市子ども・子育て支援事業計画を策定しました。平成27年4月1日現在の保育園の入園者数は、公立保育園367人、私立保育園367人、認定こども園109人の合計843人で、前年同期比16人の増です。

4月1日に施行された「生活困窮者自立支援法」に基づき、自立相談支援事業等を北秋田市社会福祉協議会に委託し、生活上のあらゆる困難に対応するための「北秋田くらし相

■談話センター」が開設されました。

高齢者在宅福祉サービスの平成26年度実績は、高齢者障害者等外出支援サービス登録者数295人で、延べ利用回数は3860回です。食の自立支援は登録者数が300人で、延べ3万4935食を提供しました。また、家族介護慰労金は177人へ支給しました。

■高齢福祉課

福祉の雪事業は、登録世帯1006世帯、延べ利用回数1万493回、利用世帯への扶助費は1992万9千円で前年度より654万4千円の増加です。

介護保険は、4月末現在の要支援・要介護認定者数2854人、その内、サービス受給者2377人で認定者数に対する受給率は83.29%で、昨年同期比で認定者数38人、サービス受給者5人の増加です。

北秋田市高齢者福祉計画・第6期介護保険事業計画が、4月からスタートしました。

包括的支援事業における平成26年度の総合相談件数は、延べ862件で、その内、権利擁護に関する相談は140件です。

■医療健康課

成人健診事業は、今年度より20歳から39歳までの方を対象に心電図検査、貧血検査等も含めた「さわやか

され、市内外からの家族連れなど、両日で約3300人の来場者を数え、盛会裏に終了しました。

健康診査」を実施しています。また、40、50、60歳を迎える方には、特定健診項目に心電図検査、眼底検査、貧血検査を加えています。

母子保健事業は、不妊症・不育症治療費助成(幸せファミリーサポート事業)の継続実施のほか、今年度から妊婦健診費用助成に産後1か月健診及び母乳育児相談を加えて費用助成を実施しています。

■診療所

2月から4月までの市立3診療所の外来患者数は次のとおりです。阿仁診療所は、内科2057人で前年同期比213人の減、外科2897人で前年同期比218人の増、歯科946人で前年同期比52人の増です。合川診療所は、2962人で前年同期比87人の減です。米内沢診療所は、内科3853人で前年同期比37人の減、小児科313人で前年同期比198人の減、整形外科1008人で前年同期比56人の増、脳血管外科234人で前年同期比3人の減、心臓血管外科65人で前年同期比15人の減です。